

地方都市視察報告書

総務区民委員会

1 実施日 平成23年10月27日

2 視察地 兵庫県西宮市

【市の概要】

(1) 面積 100.18 km²

(2) 人口・世帯数（平成23年10月1日現在）

人口 483,748 人

世帯数 204,092 世帯

3 視察項目 西宮市情報センターについて

4 視察参加者

【委員】	田中のりひで委員長	志田雄一郎副委員長	深沢としさだ委員
	根本二郎委員	かわの達男委員	桑原羊平委員
	野もとあきとし委員	なす雅之委員	近藤なつ子委員

【随員】 議会事務局議事係 岸川 裕 井口 浩子

5 視察結果報告

(1) 視察目的

西宮市における危機管理と情報システム（被災者支援システム）について視察し、新宿区における情報システムの参考とする。

(2) 視察内容

西宮市情報センターにおいて担当者から説明を受け、質疑を行った。

(3) 考 察

最善を望み、最悪に備えよの言葉にあるように日頃から震災対策に備え情報システムを整備することが求められている。被災者支援システムは職員が何度も改善してきている。今回の東日本大震災でも活用されている。

6 新宿区政への反映

新宿区の被災者支援システムの開発整備に大いに生かすべきである。

7 主な質疑・応答

問1 住民登録をしていない人は、どうなるのか。

答1 被災者支援システムは住民基本台帳が基本となるが、その他の人もこのシステムに追加していく。

問2 被災者支援システムは、義援金が被災者にスムーズに支給されることに役立つのか。

答2 り災証明が出せれば義援金を出すことはできる。
いままでの義援金を出す仕組みをかえてもらわなければならない。

問3 被災者支援システムは、職員が改修することができるのか。

答3 職員が改修できる。西宮市では自前でやってきた。

問4 西宮市の職員は、半数が市外在住ということであったが、阪神・淡路大震災前と後では、変わっているのか。

答4 最近では、西宮市以外に在住の職員が圧倒的に多いと思う。

問5 大震災後、西宮市の人口が減ったが、その後、10万人ほど増えたということであるが、西宮市の魅力はなにか。

答5 交通の利便性や住みやすさもある。
また、社宅が多かったが、マンションへと変わり人口が増加した。

問6 情報部門がリーダーシップを発揮することが重要なのか。

答6 情報部門は、縁の下の力持ちになるべきである。
情報部門、危機管理、市民課など全庁一丸となって取り組む必要がある。

8 その他

【共同視察者】

総合政策部情報政策課長 赤堀 充男